

ハンセン病を 生きて

石山春平 講演会 (東有馬在住)

ハンセン病により
冷たい視線を受け
語りつくせない苦勞をしながらも
強く明るく生きてきた石山さんに
その半生を語っていただきます

2019年

10月19日(土)

14:00~15:30(開場13:00)

<石山春平プロフィール>

1936年、静岡県生まれ。小学校6年生の時にハンセン病を発症し、強制退学。1952年、隔離政策により神山復生病院に収容。

23歳で完治が確認されたが退所は許可されず療養生活を継続。

1968年、15年間の隔離の後、社会復帰(32歳)。障害を抱えながらも民間会社に勤務。1975年から2008年まで川崎市でガイドヘルパーの仕事をする。

1996年らい予防法廃止を経て違憲・国賠訴訟原告。勝訴・政府謝罪を受け、ハンセン病回復者であることを明らかにして、学校教育や人権研修などの場で講演活動を行う。

2018年「ボンちゃんは82歳、元気だよ!~あるハンセン病回復者の物語」出版。川崎市身体障害者協会・理事。偏見と差別を無くすための活動を精力的に行なっている。

入場無料

会場：アリーノ3F 第1・2学習室

定員：50名(予約制
先着順)

申込方法：お電話、またはアリーノ1F事務室でお申し込みください